

5月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 梨栽培 武藤春香

行った主な活動

■ 就農予定地の管理

草丈20~30cmほどに伸びたところを刈払機で草刈りした。土地を4区画に分け、タイミングをずらして草刈りすることで、刈払機でも十分対応できた。降雨後の水はけや時間帯による日当たり風当りの変化もチェックした。



■ 一次摘果

1果そうに5~8果ほど着果した果実を1つだけ残し、上向きの果実や形の悪い果実を落とした。

黒星病の出やすい畑はあとから減らせるように着果を多めにし、剪定が遅く樹が弱っている畑は着果量を少なめにした。



活動を行った感想など

就農予定地の管理をしていると近所の方々が話しかけてくれて、自己紹介をしたり町内の歴史を聞いたりして交流することができた。騒音や農薬飛散のトラブルにならないように関係づくりをきちんとしていきたい。

受粉時期の気温が高く、天候にも恵まれたため着果数が多く摘果に時間がかかった。冬の剪定時に花芽の確保が不十分だった畑は着果していない枝が多く、思うように摘果できなかった。黒星病の発生が例年よりも早く、発生量も多かった。